

連携先	Canbus.	利用シーン	クラウド連携	業種	情報通信業
-----	---------	-------	--------	----	-------



ノーコードツールでデータ経営を強化！

時代変化ハスピーディーに対応可能な柔軟性の高いIT経営システムをノーコードツールをフル活用して構築

株式会社システナ

東京都港区海岸1丁目2番20号 汐留ビルディング 14F

URL : <https://www.systemena.co.jp/>

導入背景

株式会社システナはシステムの企画・設計・開発・導入から保守・ユーザサポートまでのトータル・ソリューション・サービスの提供をする企業。中でも、クラウドデータベースサービス『Canbus.』は、ユーザフリー・月額1万円から利用可能で、業務に合わせたオリジナルアプリをノーコードで簡単に作成しデータを蓄積/共有/活用できるサービスであり、スモールスタートで「IT経営」の実現を促進できると注目されている。

同社では、中期経営計画の1つにCanbus.を使った経営データの見える化を挙げているが、そのためには独立した各種社内システムとCanbus.のデータ連携が必要不可欠であった。

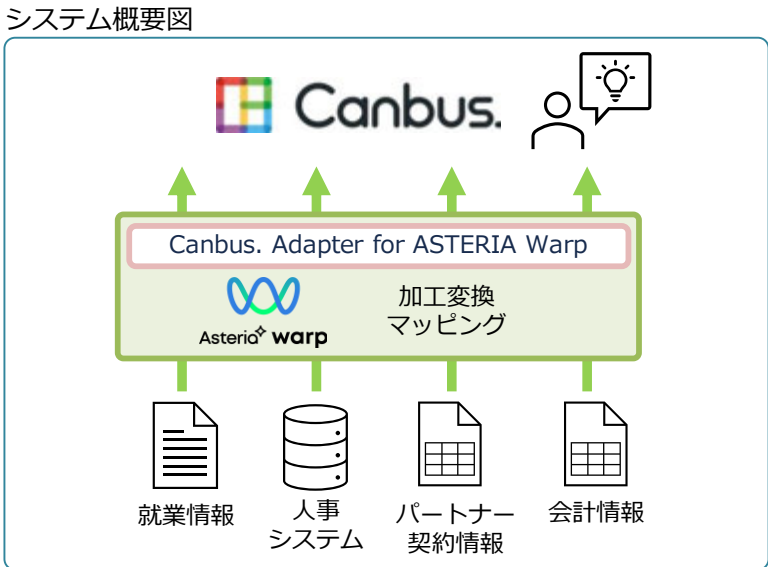
課題	導入	効果
<ul style="list-style-type: none"> ● 社内システムとCanbus.との連携 連携インターフェースや運用方法が異なる各種システムとCanbus.は、連携されていないが手動連携していたため、最新データを用いた分析をすることが難しかった。 ● 法改正等における修正対応 就業システムや会計システムなどとも連携するため、法改正等で扱う項目が変更になった場合でも、迅速に対応する必要があった。 ● 独自運用で属人化した業務 システムの運用やデータ活用は、部署ごとの独自のルールで行っていた。中でもExcelマクロなどを用いた複雑な運用は、担当者が変わると引き継ぎが難しい状況だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 直感的な操作でスムーズに開発 GUIで直感的に処理を作成。さらにデータマッピングの一括連携機能など、開発効率を上げる機能も充実していたため、想定された工数を1/3削減。 ● 開発方針策定で保守効率化 読み込み・差分チェック・書き込みなど、機能単位で処理を分割して作成しすべての処理を同じ構成することで保守を容易に。また、エラー処理、メール通知などは共通処理化し、繰り返しの開発は不要に。 ● Canbus. Adapter for ASTERIA Warpの開発 複雑になりがちなJSONの扱いもアダプター化することで処理作成が容易に。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営データを可視化 Canbus.に就業システム、人事システム、パートナー契約情報、会計システムを連携。最新データを元に就業状況やプロジェクト稼働状況、損益計算などをすべてCanbus.上で確認することが可能に。 ● 高い保守性 フローに修正が必要な場合でも、修正箇所が探しやすく、誰でも対応が容易。 ● リモートワークを推進 Canbus.は場所を問わずにアクセス可能であり、さらに連携処理を自動化することで出社が必要な業務を減らしたことで、どこでも高い生産性を発揮できる環境に。

選定理由

- ノーコードによる開発生産性の高さ
- 接続先の多さ
- 同種製品と比較して圧倒的な導入実績

今後の予定

- 「Canbus. Adapter for ASTERIA Warp」によるノーコードソリューションの拡販
専門知識を持たなくても開発可能な両製品、及びそれをつなぐアダプターをセットにすることでビジネス拡大につなげる。
- 業務自動化
現在、ExcelやGoogle スプレッドシートなどで手作業で行っている部門同士のデータやり取りや各部門内での属人化しがちな独自ルールを撤廃し、自動化。
- ASTERIA Warp利用範囲の拡大
連携するシステムを追加し、全社データ連携基盤と発展させ、それに伴いノーコード技術者を育成。



お客様から一言

ASTERIA WarpのココがGood!



新企隊本部 係長
水田 潤 様

今回は4つのシステムとCanbus.を連携しましたが、DBやCSV、REST APIなど様々なインターフェースをもつシステムとノーコードで簡単に連携ができ、使いやすい製品です。

Canbus.もノーコードでアプリケーションが作成できるツールですので、ASTERIA Warpとはとても相性がいいと感じています。今後、Canbus. Adapter for ASTERIA Warpによって、時代変化に柔軟に対応できるシステムを提案・構築していきたいと思っています。